

Table with 5 columns: 事務事業名, 政策名, 施策名, 基本事業名, 所属部, 所属課, 担当名, 予算科目. Includes details for '地域活性化・公共施設整備事業(電源交付金)'.

1 現状把握の部

(1) 事業概要

Table with 3 columns: ①事業期間, ②事業の内容, ③開始したきっかけ. Includes checkboxes for '単年度のみ' and '単年度繰返'.

(2) トータルコスト

Table with 7 columns: ①事業費の内訳(概要), ②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等), ③事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標. Includes sub-tables for '事業費' and '業務時間'.

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

Table with 7 columns: ①主な活動, ⑤活動指標. Includes '23年度実績' and '24年度計画' for '多根交流センター設計'.

Table with 7 columns: ②対象(誰、何を対象にしているのか), ③意図(対象がどのような状態になるのか), ④結果(どんな上位目的に結び付けるのか), ⑥対象指標, ⑦成果指標, ⑧上位成果指標. Includes '市民' as the target and '受益者数' as the result indicator.

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

Table with 3 columns: ①事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?, ②この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯, ③この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?.

事務事業名	地域活性化・公共施設整備事業(電源交付金)	所属部	政策企画部	所属課	地域振興課
-------	-----------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 市民が主役の自治のまちを掲げている市の方針に合致している。 集会施設が住民活動の拠点であり、住民自治活動をより充実したものである。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 自治会組織や地域交流センターは、住民自治を推進する基礎的な組織であり、雲南市のまちづくり施策に合致するものである。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 公的に地域が利用している公設施設を対象としている。また、自治会集会所は自治会が所有・使用しているものとしており、その他は対象としていない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 地域の自主的な活動の活発化を図るため、行政との協働を推進していくためには、活動拠点の整備が不可欠であり、現行の補助制度を継続していく必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 水力発電施設設置自治体に対する国の交付金事業であり、交付期間に従い実施する。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 水力発電に対する地元理解を得ることが交付目的で、類似の補助制度がない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 交付金枠内での事業実施とし、事業費が交付金枠を超える場合には、地元負担を伴うことを前提に事業を実施している。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か?成果を下げずに正職員以外や委託できないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 交付金の申請事務、設計、発注、実績報告等の事務を必要最小限の業務で行っている。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 交付金の制度に従い、水力発電の理解を求めることがより必要は地域を中心に、市内全域を対象として実施している。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公共施設の整備や活動拠点施設の拡充し、住民自治活動をより充実したものとなっている。ハード事業からソフト事業まで、交付対象事業は幅広く、今後も継続し、地域振興に役立てていく必要がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果																										
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下	維持		×	×	低下			
				コスト																							
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持		●	×																							
低下	維持		×	×																							
	低下																										
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																											
交付金制度が見直され、交付限度額は2/3になったものの、交付期間は10年延長となった。平成24年度からの5か年は、旧交付対象の4町を対象として事業展開していくが、平成29年度からは市全域を対象として事業展開できるようにコントロールし、バランスのとれた地域振興に資する事業を展開する必要がある。																											